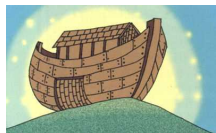


あなたの心にジャストミート 1月20日メッセージ  
霊的事実を知らせる人(創6:1-8)

ノアの時代は、地球の歴史上、最高に豊かな時代だったと言えます。神の民が、神様を捨てて豊かさに流れるほど豊かで、そのような肉体的豊かさが真の幸いで、それが永遠に続くと思われていました。神様の救いの計画や神様のことはまったくなく、自分たちの豊かさをもちたらず偶像を作って、それで十分であり、正解だと思っていました。それがネフィリム時代です。神の民も、神様の契約を捨てて豊かさに従っていました。その中で、ノアだけはちがっていました。そのノアに、神様が箱舟を造るように言われ、ノアは山の頂上で箱舟を造りました。箱舟はキリストをあらわします。人々は、そのようなノアをばかにして、非難していました。ノアが、そのような人々のことばに揺れずに、箱舟を完成したとき、大洪水が来て、全人類が滅びたのでした。

いまの世の中も同じです。マタイ24:37-39に終わりの時代には、ノアの時代のようにと言われてい



ます。いまの現場が、ノアの時代と同じであることを心に留めましょう。それが、現場を理解する大切な鍵になります。いまの現場も、神様をはなれ、罪ある人々はノアの時代と同じ状態です。これは、時代、国が変わっても同じです。たましいのある人間が、霊的に死んでいる状態です(エペソ2:1)。霊的知識がまったくなく、霊的事実に無知なので、肉体を中心に生きるしかありません。私たちは、生まれながらその中に生きています。たましいが死んでいるので肉体中心になっていますから、肉体的健康が人生の基本となり、豊かさが人生のテーマになり、肉体の成功が人生の目標となるのです。世の中はこれしかありません。それゆえ、お金を愛するようになって、お金に神のように仕えるようになります。現場は、お金によって能力や幸せが評価されます。お金のためには手段を選ばないので、犯罪、戦争も起きるようになるのです。これが、いま現場にある背

景です。そこから生まれるのが偶像です。肉体中心になると、偶像崇拜が生まれ、それが合体してネフィリム時代になります。ネフィリムとは、上から落ちてきたという動詞が名詞化されたことばで、サタンのことです。このようにして、サタンが完全に掌握する世の中になります。このままでいると、思ってもいないわがわがいに会うようになり、最後は火による審判があります(Ⅱペテロ3:12-13、黙示録)。現場をこのように正しく見ることが、勝利のすべてです。日本の現場を見ると、神社仏閣でお願いすることがすべて、肉体中心の繁栄や安全、安泰を求めることです。お祭りが生まれる背景もそうです。現場の風潮、流れが、すべてお金です。教会ですらごりやく主義になっています。

現場を見ながら、気を引き締めて、霊的事実を思い出し、心に留めましょう。神は霊です(ヨハネ

4:24)。人間は創造主の神様によって造られた霊的存在です。神のかたちとして創造されたので、人間の幸せは物

によって得られるのではなく、神様とともにいることで味わうことができます。イエス様が悪魔の誘惑に会われたとき、「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる」と言われたように、人間は肉のことによって生きるではありません。ところが、サタンが人間をねたんで罪を犯すようにさせ、人間を支配下に置くようになりました(ヨハネ8:44)。すべての人が罪人でサタンに支配され、神様に会う道がありません。それゆえ、神様がイエスをキリストとして送ってくださって、キリストが悪魔の頭を踏み砕き勝利され、悪魔のしわざをすべて打ちこわしてくださいました(Ⅰヨハネ3:8)。この霊的事実を確認しましょう。霊的事実を知り、アーメンと告白して、キリストしか答えがないと心貧しい者となって、イエスがキリストだと信じ受け入れる人は、まことに幸せな人となります(ヨハネ1:12)。その人は、新しく生まれ(ヨハネ3:3)、神の国に入り、イエス様にあな

たは幸いですと言われる人となり、天にあるすべての霊的祝福を受けるようになります(エペソ1:3)。

この霊的事実を確信するなら、どんな肉体中心の現場でも、それによって左右されることはありません。肉体中心の現場を見て、ちがうと霊的事実を思い出し、その現場に霊的事実を知らせるために自分があることを意識すればよいのです。ネフィリムにとらわれた人々がキリストの箱舟に入ることができるように、現場にノアとして自分が遣わされているという自覚が大切です。そのために、まず、自分がすでに箱舟の中に入っている者だということを味わいましょう。すでにキリストの箱舟の中にいるので、肉体的なテーマ(思い煩い、ねたみ、不平不満、劣等感、自慢、落胆、あきらめ、欲、動機、つまずきなど)は、いらぬ幸せな者だと確認しましょう。すでに天にあるすべての霊的祝福を受けていると告白して、聖霊が内住しておられ、神の神殿となっていて、栄光に富んだ者とな

っていると確認しましょう。幸せを心から味わって、箱舟の中にいる幸せを、どんなことにも振り回されずに味わいましょう。お金によって動かされている人々の中で、自分はどんなところでも満ち足りる秘訣を知っていると、霊的事実を味わい続けましょう。そうしているなら、ネフィリムにとらえられている現場の人々が、洪水の中で箱舟のドアをノックして尋ねて来る時がきます。そのときを思い描き、その人に霊的事実を詳細に伝えることを思い描きましょう。現場の灯台として、本当の問題と正解を伝える者として、因果応報の世の中に恵みの法則を知らせる者として自分があることを確信しましょう。

まず、信仰の宣言文を宣言して現場に向かいましょう。そうすれば、すべてが加えて与えられるようになります。そのことを体験し、あかすクリスチャンとなることを祈ります。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

創世記6:1-8 霊的事実を知らせる人

なるほど/人は、肉体の健康や豊かさ、肉体の成功が幸せだと思ひ頑張るけど、霊的な無知の故にネフィリムになるしかなく、災いを避けることはできない。そのような現場で箱舟を作って霊的事実を知らせたノアのように、信者は霊的事実を知らせる見張り人として遣わされている。ならば/すでに箱舟の中にいる幸福者として、ネフィリムの現場にて箱舟運動をする誇りを持って期待して祈ろう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文(2019年1月20日)

1部礼拝：世界の枠を壊した人々(出2:1-10)

私が苦しみ会ったとき、レムナント7人のように、神様が約束されたキリスト、神の国、ただ聖霊の力を受けて、不信仰の枠から抜け出すようにして下さることを感謝します。どんな困難と弱さの中にも、ただ福音の価値を知って、不法の世の中の枠を壊す契約の中に入りますように。誰もできない伝道、宣教の枠の中に入って、神様がなさる働きを見ますように。神様が任せられた最後の働きを通して、絶対に変わらない契約を伝えますように。ただ契約を握って証人となりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝：イテロ長老(出18:19-27)

聖書にだけ記録されているわがわがの理由と、聖書が与える福音の答えを知って味わったイテロ長老の祝福を、私が味わうようにして下さることを感謝します。神様の前で、誰も理解できない絶対的な選択をして、モーセをたてる隠れた役割をすることができますように。全く表に出ない隠れた献身を通して、神様の働きを成し遂げますように。あらわれた献身を通して、全世界の組織をたてますように。結局、私の献身以後にレムナントが起きて、止めることができない答えが起きる主役となりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。